

あいち通信

第四十八号 平成二十五年八月
日本会議 愛知県本部 事務局
052-763-4588

報告 6/27日本・ウイグル自由のための連帯フォーラム in名古屋・ラビア女史講演抄録

日時 六月二十七日(木) ●会場 ウィンクあいち ●参加者 二百名強

●講演者 「世界ウイグル会議」総裁 ラビア・カーディル女史

ウイグル建国は一九四四年で、当時はウイグルには人口比でウイグル人八〇%以上、中華系二%であった。この頃はウイグルに対して自治権を与え、宗教の自由も認める程、中共政府も優しい顔をしていた。しかし、人口比が五〇%／五〇%になると中共政府は豹変。ウイグル人の宗教を禁止し、仕事は中国人を優遇してウイグル人を追い出し、地下資源を略奪。(略奪には本土から中国人を連れてきている)、農家のウイグル人の土地を奪い中国人に与えた。土地提供を拒めばテロリストのレッテルを貼り投獄した。また、中共政府はウイグル人に対して同化政策を行っている。十四〜二十四歳の女性を家族から強制的に引き離し中国本土に連れて行った。反対すればテロリストにされ、投獄あるいは殺害された。宗教指導者を含む知識人に対してもテロリストのレッテルを張り弾圧を行っていた。テロリストには拷問の他に人体実験、臓器の摘出も行っている。国慶節などの祝日には公開裁判がおこなわれ、町中引き回しにされ、処刑場に連れて行かれる。このような状況であるため月に一回は暴動が発生しており、中共軍に対してウイグル人はナイフのみで立ち向かっている。なぜ正規の軍隊に対してナイフのみで立ち向かうのかといえば中共政府の抑圧政策にして自身の死を覚悟して対抗せざるを得ないからであって、中共政府の抑圧政策の犠牲者である。ウイグル人に対する殺戮は中共軍だけでなく、一般の中国人もごく普通に行っている。



中共政府はナショナリズムで他民族を殺す教育を自国民に行っており、経済発展を基に他民族を消滅させるように仕向けている。特に若者の洗脳が強い。

私達は私達の文化、伝統を護ることを訴えてきたが、今はいかに生き延びることを訴え活動している。このまま中共政府の行いが続けば周辺諸国もウイグルと同じ状況になってしまう。ウイグルを救うことは自分の国を救うことになる。日本の国会は隣国の状況を鑑み、日本政府は現地調査の要求を出すべきだ。(文責・愛知竹田研究会幹事 高橋 基氏)

報告・日本会議西春日井支部主催「シベリア抑留者、労苦を語る会」開催

日時 七月四日(木)、六日(土) 十四時〜十五時

●会場 清須市市民会館三階 ●会費 千円 ●参加者 十名強

●全国強制抑留者協会愛知県支部主催・第三十七回シベリア抑留体験パネル展(七月三日〜七日・清須市市民会館二階ホール)開催に合わせ、日本会議西春日井支部・主催、神社庁西春日井支部神社協力会 菊光 後援で、「シベリア抑留者労苦を語る」と題し、同財団、

愛知県支部長 河村廣康氏(九一歳)の語る会を開催しました。このパネル展は、河村氏達、生きて故国に帰り今まで生きてきた抑留者が、自分たちの責務と感じ継続されてこられたのであります。一日目は平日であり西枇杷島町の主婦の方にも多く参加いただきました。開会にあたり、日の丸に一礼、国歌斉唱をする際には戸惑われる方もおられたなどちよつとしたハプニングもありました。私は日本会議の支部長として啓蒙しがいがあるとますますやる気が湧いてきました。河村さんのお話の中の日本政府のまったくやる気のない遺骨収集の話には涙ぐむ方もみえたり、「私も戦争は大嫌いだが、『子供を戦場に送らない』と言っているのでは駄目で、やる時にはやらなければ、やられてしまう、国を護る軍隊は必要。世界はそんなに甘くない」、などという話にうなずいておられる方もみえました。二日目土曜日には会員さんのご子弟である中学生一年の男の子がやられて河村さんの話に聞き入るなど本当に嬉しい講演会となりました。帰り際に日の丸のミニ国旗を渡しますと『ありがとう』と礼儀正しい返事が返ってきました。日本の将来の明るい希望が見えてきたよう目頭が熱くなりました。日本会議会員のみなさん、今後もよりよい日本を作るため力を合わせて頑張ります。 (日本会議愛知県本部 西春日井支部 支部長 水田 美子・文責)

●案内 会員拡大に伴い、名古屋支部の分結の動きをスタートします。まず名古屋支部の中に名古屋東支部(緑区、天白区、昭和区)がこの度、力強く産声を上げました。喜ばしい限りです。対象地区の皆さんは勿論、以外の方の参加も大歓迎です。

日時 八月三日(土) 十三時半〜十六時(受付開始 十三時)

会場 昭和区生涯学習センター・視聴覚室 名古屋市中区和石仏町一四十八 TEL 052-852-1144 地下鉄・御器所駅二番出口出て右(すぐ)二本目を右折、五本目を左折し、二〇M先、通り右側にあり(南東方角・五五〇M・徒歩七分)

会費 五百円

案内・八月十五日・愛知県護国神社黙禱祭にご参加ください
八月十五日(月)午前七時三十分、護国神社境内の手水舎前にご集合下さい。祖国繁栄の礎となられた英霊に黙禱を捧げ、昭和天皇終戦の御詔勅を拝聴の後、お神酒を頂戴します。当日、神社のご厚意で、境内に、会場とテントをお借りして日本会議名古屋支部が主管となり、署名活動、昭和二十年当時のビデオ放映等も企画した無料の休憩所の開設と冷茶の提供をさせていただきます。お手伝いいただけ方、お一人でも多くご参加ください。(十三時頃散会)

案内・八月十八日・田母神俊雄先生講演会チケット事前購入方法
裏面掲載の八月十八日(日)開催の「田母神俊雄先生講演会」前売り券千円(当日千五百円)をご希望の方は、郵便振替口座00840642153 日本会議愛知県本部へ送金下さい。後日、郵送いたします。

●愛知県護国神社清掃奉仕予定
次回は八月四日午前七時開始、八時終了。九月から八時〜九時に戻ります。九月一日、十月六日、を予定しております。軍手を必ずご持参下さい。また、小雨なら社屋の木枠拭き掃除しますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが、疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛お電話下さい。(090・6466・1592)。

●「日本の息吹」を引き続き購読下さいますようお願いいたします。